

北東アジアビジネス情報ハブー中国情報ー

(パイロット版ー①)



□黒龍江省の経済動向・ビジネス情報（発信元：黒龍江省商務庁、2011年8月）

□黒龍江省の経済動向・ビジネス情報（発信元：黒龍江省商務庁、2011年9月）

□吉林市の投資誘致プロジェクト（発信元：吉林市商務局、2011年9月）

2011年11月

ERINA 経済交流部

黒龍江省の経済動向・ビジネス情報

発信元：黒龍江省商務庁（2011年8月）

ジャムス市の「三大経貿活動調印」プロジェクト

「三大経貿活動調印」プロジェクトとは、「央企（中央企業）との協力交流活動」、「2011 黒龍江（香港）キャンペーン週間」、「第 22 回哈洽会（ハルビン国際貿易商談会）」の三つの重要な交流活動において調印された投資誘致プロジェクトをいう。ジャムス市は黒龍江省委員会や省政府が策定した「八大経済区」、「十大工程」の経済発展戦略に従って、投資誘致を重点的に推進してきた。同プロジェクトは、ジャムス市経済合作促進局が率先して各地域・各部門のフォローアップや監督管理を行い、定期的に企業を訪問して問題を解決し、プロジェクトの進展を加速化し、建設速度、契約履行率、資金調達率を高めてきたものである。

牡丹江市外来投資企業協会

牡丹江市外来投資企業協会が7月6日、成立した。林寛海市長が開会式でスピーチをし、その後、企業家代表らと座談会を開いた。同協会の役割は牡丹江市に投資する外資系企業に「サービス」、「監督」、「宣伝」を提供することである。

依安県牧龍王瓷業プロジェクト

牧龍王瓷業有限公司は、チチハル市の依安県工業園區に所在する。香港、福建省、遼寧省法庫県など3地域の投資者が共同出資し、主に外壁タイル及びその他陶磁器製品を生産する。現在、敷地の整備が完了し、倉庫および窯炉作業場用地（3,500平方メートル）の地下部分、窯炉作業場の鉄骨構造、窯炉、ガススタンド、オフィスビルを既に建設した。さらに送風機、ガス炉、圧力機などの設備を設置する予定。同プロジェクトは9月末に試行される見込み。

扎龍温泉観光名鎮プロジェクト

扎龍温泉観光名鎮プロジェクトは北京明道酒店投資有限公司が投資開発して建設したもので、黒龍江省のチチハル市鉄鋒区哈拉烏蘇村、齊扎道路の両側に位置する。設計プランはほぼ完成し、敷地面積は253.46ヘクタール、建設期間は合計8年で、5期に分けて実施する。同プロジェクトは温泉レジャーランド、温泉区（2カ所）、湿地体験区、養老コミュニティ、高齢者大学及び老人ホーム、包括支援センター、五つ星ホテル（1軒）、三つ星ホテル（2軒）、一般ホテル（1軒）、会議センターを建設する。プロジェクトに関する土地、樹木、配管網が一体化したインフラ、環境基準は既に採択され、また、全体計画及び詳細計画、新規企業の登録、土地の収用及び補償も既に完了した。現在、温泉区（1カ所）、五つ星ホテル、高齢者大学のメイン・キャンパス、温泉レジャーランドなどの施設が本年第1期目の始動目標として建設中だ。

チチハル市羅西亞大街プロジェクト

昂昂溪羅西亞大街総合観光文化プロジェクトは黒龍江金龍馬集団有限公司が投資・建設するので、羅西亞大街の建設を中心に異国文化、歴史文化、映像文化、北国文化を一体化した総合的

な文化観光地を開発・建設する。

チチハル市高速鉄道新型部品プロジェクト

チチハル精鑄良裝備製造有限公司（高速鉄道新型部品及び転轍器産業化プロジェクト）は龍沙区明海路に立地する。同プロジェクトはハイテク産業プロジェクトの一つで、主に高速鉄道用転轍器敷板、軌道敷板等の機関車及び路床の部品を生産する。建設期間は2010～2012年、敷地面積は14万平方メートル、新設工場の建築面積は5万平方メートル。

克山龍能生物質能源（バイオマスエネルギー）開発産業園区

克山龍能生物質能源開発産業園区は遼寧省遼能生物質能源開發（集團）有限公司が投資・建設するもので、敷地面積は80万平方メートル、建築面積は54万平方メートル。主に生物質設備製造、生物質粒子製造、生物質カリ肥料生産、生物質発電・熱供給を一体化した再生可能エネルギー開発及び総合利用を行う。

克山龍能六鑫水泥（セメント）制品有限公司

克山龍能六鑫水泥（セメント）制品有限公司は浙江省台州市黄岩石鑫水泥（セメント）制品有限公司が投資・建設したもので、敷地面積は5万平方メートル、年間生産可能量は50万立方メートル。同プロジェクトは2010年3月25日に調印し、2010年5月に着工した。主にセメントとコンクリートの攪拌所、セメント煉瓦製造所、オフィスビル等の建設が予定され、そのうち、攪拌所の基礎部分、セメント粉末を流し込む基礎部分（200トン入り×8個）の工事は既に完了した。工事の進捗状況は順調で、現在、生産試行段階にある。

梅里斯風力発電所建設プロジェクト

梅里斯風力発電所建設プロジェクトは中国華電能源股份有限公司が投資・建設するもので、黒龍江省の2011年発展規画にも盛り込まれている。30万キロワットに相当する電力をすべて使用した場合、毎年7,200万元の税収増が可能となる。

黒龍江省の経済動向・ビジネス情報

発信元：黒龍江省商務庁（2011年9月）

伊春市ブルーベリー産業園

小興安嶺の果実加工技術開発センター建設プロジェクトが順調に始動

小興安嶺の山果実加工技術開発センター（伊春市ブルーベリー産業園）の建設プロジェクトは、昇輝集團越橋莊園生物科学技術有限公司と銘豊（香港）有限公司が共同で投資したブルーベリー産業の総合開発プロジェクトである。8月現在、ブルーベリー酒窖の中心部分（6,995.02平方メートル）、観光タワー及び総合会議場（2,371平方メートル）、人口湖（20,000立方メートル）、路面（延長2,100メートル）等の建設が既に完成した。2012年6月にすべての工事を完了し、

同年 8 月に運営開始の予定。

黒龍江省農墾総局

急速冷凍野菜輸出加工基地の建設プロジェクトが着工

このプロジェクトはハルビン国際経済貿易商談会で調印されたプロジェクトの一つで、青島華儒投資発展センター、青島千葉食品有限公司、趙光農場急速冷凍野菜輸出加工基地が協力して開発する。主にトウモロコシ、枝豆、サヤインゲン、ホウレンソウ、山菜などの急速冷凍野菜を加工し、加工された製品のすべてを輸出する。

中国（チチハル）第 11 回緑化博覧会が開幕（黒龍江日報 8 月 29 日）

8 月 28 日～9 月 1 日に行われた中国（チチハル）第 11 回緑化博覧会は、「緑色、健康、協力、発展」を主要テーマとし、専門的・特徴的な博覧会という理念を強調しながら、政府が企画し、企業がマーケティングをするという基本原則を提唱した。博覧会は緑色食品産業と展覧会経済の健康発展を積極的に推進するとともに、「緑色食品の都」というブランド意識を全面的に打ち出した。博覧会でのイベントは全部で 9 項目あったが、その中でも緑色食品展示販売、農業科学技術博覧、農機展示販売、経済貿易商談及び調印式、特定プロジェクトフォーラムなどが注目を集めた。

第 1 回中国新素材産業国際博覧会 9 月に開幕（黒龍江日報 8 月 29 日）

9 月 6 日～8 日、第 1 回中国新素材産業国際博覧会がハルビンで開かれた。同博覧会は「展示・取引・交流」の 3 機能を持った国家レベルの専門展示会として位置付けられた。そのうち取引機能が中心的役割を担う。博覧会のテーマは「新素材・新機会・新発展」で、製品展示、技術交流、製品紹介、企業誘致及び資金導入、貿易商談、報告・発表会等の活動を企画し、中国新素材産業発展のレベルをアピールした。また、企業間の情報交換、業界の技術協力、地域間の交流を強化し、中国新素材産業の持続的・健康な発展を目指した。

第 2 回北東アジア生態フォーラム 伊春で閉幕（黒龍江日報 8 月 30 日）

8 月 28 日、第 2 回北東アジア生態（伊春）フォーラムが伊春市で閉幕した。中国、韓国、日本、ドイツ、インドからの政府関係者、国連機関及び国際組織の代表、国内外専門家、学者など 150 人余りが集まり、生態安全問題について意見を交わした。具体的には、共同研究により課題をクリアし、北東アジア各国間協力関係を一層高め、北東アジア地域、さらには世界の生態安全を守っていくことに合意した。

企業誘致及び資金導入 投資総額 100 億元超（黒龍江日報 8 月 30 日）

8 月 29 日午前、第 11 回緑色食品博覧会で企業誘致及び資金導入プロジェクト 18 件の合同調印式が行われた。そのうち、国内資金によるものが 17 件（投資総額 100.7 億元）、外国資金によるものが 1 件（投資総額 6,150 万ドル）。プロジェクトの内容は主に 5 つの産業、すなわち農業畜産製品加工、装備製造、物流、生物製薬、新エネルギーなどに区分される。具体的には以下の通りである。

- ① 訥河市：700MW 風力発電（60 億元）
- ② 富裕県：機械加工産業園（15 億元）、豚・牛の屠殺場及び加工場（1.2 億元）の建設
- ③ フラルキ区：チチハル龍馬重工有限公司（5.5 億元）の設立
- ④ 甘南県：豚（年間 100 万頭）の屠殺場及び加工場（6,150 万ドル）の建設
- ⑤ 建華区：建設機械と部品の再製造基地（1 億元）
- ⑥ 鉄鋒区：連通名苑城中村（3.5 億元）の改造（都市に残された村の再開発）、チチハル瑞隆エネルギー株式会社（1 億元）の設立
- ⑦ 克山県：黒龍江省昆豊種ジャガイモ取引市場（2 億元）

依蘭プロジェクト建設 地域経済発展に向けて力を蓄積（黒龍江日報 8 月 30 日）

2011 年、依蘭県は 1,000 万元以上のプロジェクトを 121 件誘致した。上半期だけでも 14 件（総額 31.03 億元）に調印したが、そのうち、1 億元プロジェクトが 6 件、3,000 万元以上のプロジェクトが 8 件あった。また、上半期の財政収入は 6.05 億元（前年同期比 51.1%増）で、黒龍江省の中で 8 位を占めている。同県は石炭化学工業、新エネルギー、緑色食品、鉱産物資源、観光文化といった 5 つの産業クラスターを形成し、地域経済発展に向けて強大な力を蓄積した。

「大美興凱湖」 鶏西を観光ブームに（黒龍江日報 8 月 30 日）

鶏西市委員会及び市政府が策定した「大美興凱湖、活気ある鶏西城に」の戦略に従って、鶏西市観光事業は生態観光休養基地の建設を目指して、興凱湖観光休養集合区と興凱湖観光名鎮の開発建設を全面的に推進した。8 月現在まで、鶏西市は国内外観光客数延べ 300.88 万人（前年同期比 13.7%増）、観光収入総額 12.26 億元（前年同期比 16.7%増）を実現した。

新素材産業発展シンポジウムがハルビンで開催（黒龍江日報 8 月 31 日）

8 月 30 日、黒龍江経済新聞社、黒龍江省新素材産業協会の共同主催で、「黒龍江省新素材産業発展の行方」シンポジウムがハルビンで開かれた。会議に出席した専門家、学者らは黒龍江省の新素材産業発展の現状、生かすべきチャンス及び優位性を巡って議論を交わした。

吉林市の投資誘致プロジェクト

発信元：吉林市商務局（2011 年 9 月）

化学工業

プロジェクト名	グリコールエーテル（Glycol ether）生産プロジェクト
投資総額	21,783 万元
プロジェクト概要	市場ニーズ：予測される国内需要量の年間伸び率は、2011～2015 年で約 7%（2015 年の需要量 33 万トン）、2015～2020 年で約 4%（2020 年の需要量 40 万トン） 技術導入：連続管型反応装置による製造技術 原材料：現地調達

建設規模：年間生産量 6 万トン
経済効果：年間生産額 84,000 万元（予測値）

自動車

プロジェクト名 リアアクスル（後車軸）の生産ライン建設プロジェクト
投資総額 20,000 万元
プロジェクト概要 敷地面積：50,000 平方メートル
建築面積：30,000 平方メートル
年間生産量：2 万セット
販売供給：中国第一汽車集团公司向け
経済効果：年間生産額 25,000 万元、利潤 2,000 万元（予測値）

エネルギー

プロジェクト名 蛟河市揚水発電所プロジェクト
投資総額 500,000 万元
プロジェクト概要 建設目的：①東北地域の電力網及び電源構造の調整と電源の合理的配置の需要、②吉林省電力網の発展の需要
建設規模：発電所のキャパシティー規模（1,200MW）、可逆回転式フランシスポンプ水車（4 台）、単位当たりのキャパシティー（300MW）
経済効果：年間売上高 123,166 万元、利潤 47,840 万元（正常に運行された場合の予測値）

冶金

プロジェクト名 スクラップ加工センタープロジェクト
投資総額 14,946 万元
プロジェクト概要 市場ニーズ：スクラップ資源は鋼鉄工業の「第二鉱業」として、エネルギー節約、汚染減少、環境保護、循環利用等の利点がある。近年、スクラップの供給は増加し、その役割も拡大しつつある。
技術提供：吉林省冶金設計院有限責任公司
原材料：外部から購入したスクラップを薄型・大中型に分別・加工し、完成品を積み置き場へ配送。
建設規模：年間処理量 50 万トン
経済効果：売上高 7,200 万元（予測値）

非金属鉱物

プロジェクト名 蛟河市天崗石材城プロジェクト
投資総額 100,000 万元
プロジェクト概要 建設目的：大規模石材取引センターを建設し、鉱山と加工工場及びサービス産業をセットに、蛟河天崗石材の産業全体のレベルアップを促し、北東アジア地域の核心的地位を確立すると同時に、中国石材の中心的存在とな

ること。

原材料：吉林蛟河天崗石材産業園区は北東アジア地域の中心に位置しており、東北地域最大の石材原材料基地、生産基地、産業集散地として、「東北地域の石材第一郷」と呼ばれている。

建設規模：敷地面積 50 万平方メートル（ホテル会議展示区、石材取引市場区、貯蔵物流区、飲食ビジネスレジヤ施設区、別荘施設区、多層住宅区等の建設・管理を予定）

経済効果：建設期間に投資回収期間を合わせて 7 年と予測

連絡先：吉林市商務局国際貿易地区処

連絡係：林 平、仲偉岩、馬 穎

電 話：0086-432-62049934

F A X：0086-432-62049942

E-mail：a62049934@126.com

「北東アジアビジネス情報ハブ」に関するご意見・ご質問は、下記までお寄せください。

ERINA 経済交流部 佐藤、穆

Tel: 025-290-5545

E-mail: businesshub@erina.or.jp